

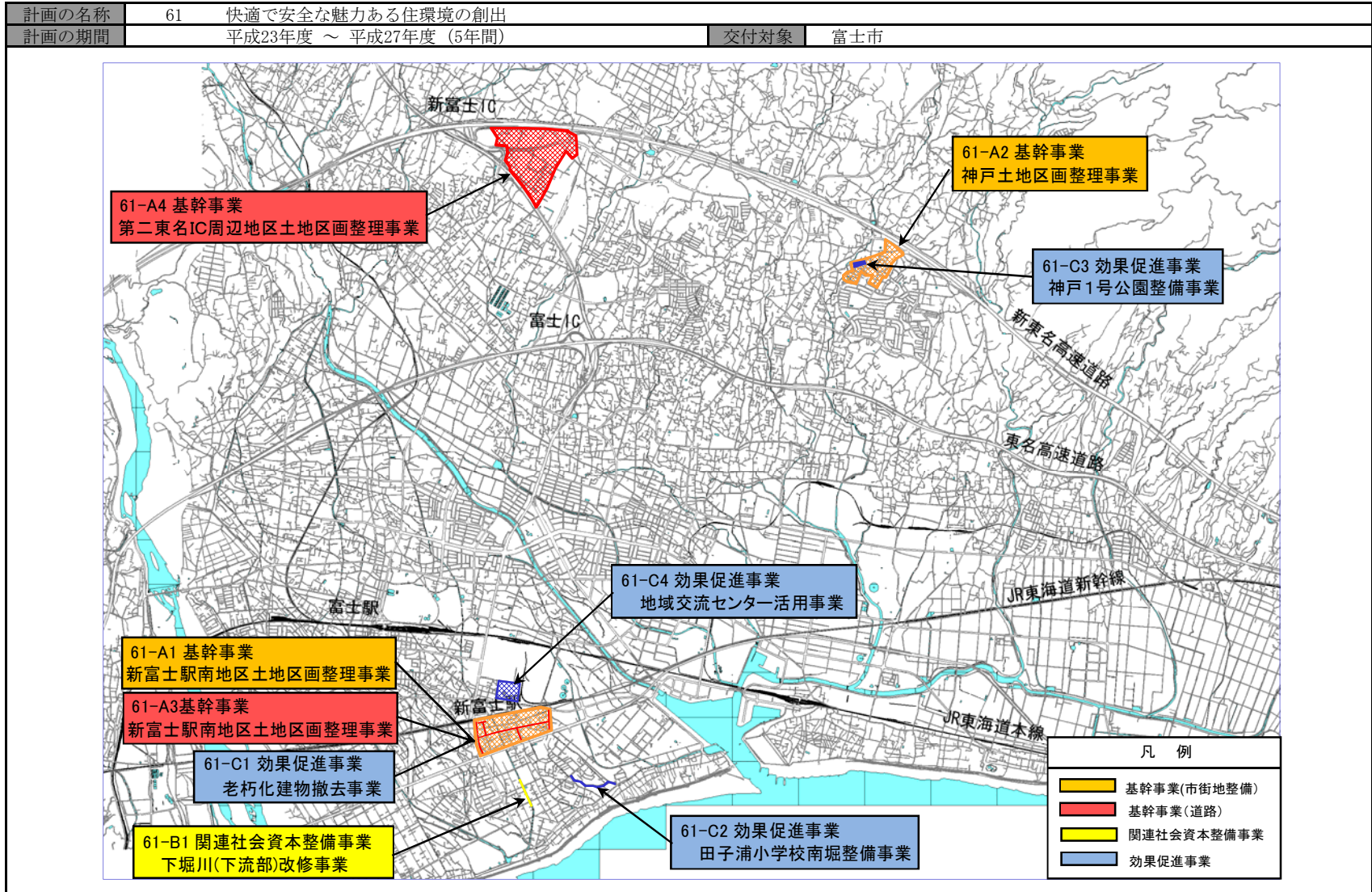
社会資本総合整備計画（市街地整備・道路）

平成 26年 月 日

計画の名称	61 快適で安全な魅力ある住環境の創出																																						
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	富士市																																
計画の目標	<p>新富士駅南地区及び神戸地区の土地区画整理事業の施行区域は、都市基盤が未整備で狭隘道路が多いため、適正な土地利用や緊急時の対応、通行車両及び歩行者の安全確保が困難な状況である。また、土地利用のスプロール化の進行が懸念される区域もあるため、土地区画整理事業により、都市機能の更新や魅力ある都市空間の整備などを行い、快適で安全な魅力ある住環境の創出を図る。また、第二東名IC周辺地区においては、流通関連施設を集約的・計画的に配置し、道路交通の円滑化を図る。住宅地への大型車の流入抑制を行い良好な住環境を確保しつつ流通業務地が効果的に機能するよう計画的な基盤整備を行う。さらに、土地区画整理事業区域を流域に含む準用河川下堀川や普通河川の整備を行い、水害に強い都市を構築し、安心で安全な市民生活の確保を図る。</p>																																						
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・新富士駅南地区土地区画整理事業区域内において、良好な生活環境が確保された宅地面積 ・神戸土地区画整理事業区域内の定住人口 ・新富士駅周辺地区下堀流域において、洪水に対する安全性が確保された区域 ・第二東名 I C 周辺地区土地区画整理事業において、良好な住環境を確保しつつ流通業務地が効果的に機能された区域 																																						
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新富士駅南地区内の道路整備により、狭隘部が解消され、通行車両及び歩行者の安全性が向上した区域等の面積を算出する。</td> <td>3.5ha</td> <td></td> <td>6.3ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神戸土地区画整理事業において、現在及び目標年度における定住人口を測定する。</td> <td>440人</td> <td></td> <td>490人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河道整備により、浸水被害が解消する面積を算出する。（1/10確率年降雨モデルの氾濫シミュレーションの浸水区域から算出）</td> <td>26ha</td> <td></td> <td>35ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二東名 I C 周辺地区土地区画整理事業の基盤整備により、創出された大規模流通業務施設用地の面積を算出する。</td> <td>0ha</td> <td></td> <td>3.6ha</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	新富士駅南地区内の道路整備により、狭隘部が解消され、通行車両及び歩行者の安全性が向上した区域等の面積を算出する。	3.5ha		6.3ha		神戸土地区画整理事業において、現在及び目標年度における定住人口を測定する。	440人		490人		河道整備により、浸水被害が解消する面積を算出する。（1/10確率年降雨モデルの氾濫シミュレーションの浸水区域から算出）	26ha		35ha		第二東名 I C 周辺地区土地区画整理事業の基盤整備により、創出された大規模流通業務施設用地の面積を算出する。	0ha		3.6ha	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																			
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																																				
新富士駅南地区内の道路整備により、狭隘部が解消され、通行車両及び歩行者の安全性が向上した区域等の面積を算出する。	3.5ha		6.3ha																																				
神戸土地区画整理事業において、現在及び目標年度における定住人口を測定する。	440人		490人																																				
河道整備により、浸水被害が解消する面積を算出する。（1/10確率年降雨モデルの氾濫シミュレーションの浸水区域から算出）	26ha		35ha																																				
第二東名 I C 周辺地区土地区画整理事業の基盤整備により、創出された大規模流通業務施設用地の面積を算出する。	0ha		3.6ha																																				
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,104 百万円	A	2,495 百万円	B	408 百万円	C	201 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.5%																													
交付対象事業																																							
A 基幹事業																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																						
											H23	H24	H25	H26	H27																								
61-A1	都再区画	一般	富士市	直接	富士市	—	—	新富士駅南地区土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=29.2ha	富士市						950																							
61-A2	都再区画	一般	富士市	間接	神戸土地区画整理組合	—	—	神戸土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=12.8ha	富士市						315																							
61-A3	街路	一般	富士市	直接	富士市	区画	改築	新富士駅南地区((都)田子浦往還通り線外)	区画整理 A=29.2ha	富士市						400																							
61-A4	街路	一般	富士市	直接	富士市	区画	改築	第二東名 I C 周辺地区((都)末広線外)	区画整理 A=45.0ha	富士市						830																							
											合計	2,495																											
B 関連社会資本整備事業																																							
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																							
										H23	H24	H25	H26	H27																									
61-B1	河川	一般	富士市	直接	富士市	—	下堀川（下流部）改修事業	河川改修 L=247m	富士市						408																								
											合計	408																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																											
61-B1	土地区画整理事業(61-A1)とその施行区域を流域に含む河川改修事業を一体的に実施し、防災安全性の向上を図り、安心で安全な中心市街地を形成する。																																						

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
61-C1	安全対策	一般	富士市	直接	富士市	—	老朽化建物撤去事業	建物撤去 N=10戸	富士市						100	
61-C2	施設整備	一般	富士市	直接	富士市	—	田子浦小学校南堀整備事業	河川改修 L=450m	富士市						41	
61-C3	公園	一般	富士市	直接	富士市	—	神戸1号公園整備事業	公園整備 A=0.2ha	富士市						45	
61-C4	活動支援	一般	富士市	直接	富士市	—	地域交流センター活用事業	キッズワールドinふじさんめっせ	富士市						15	
										合計					201	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
61-C1	土地区画整理事業(61-A1)の施行区域内に存在する昭和56年以前(新耐震設計基準以前)の老朽建物の撤去を実施し、災害発生時の被害軽減を図り、安全で安心な中心市街地を形成する。															
61-C2	土地区画整理事業(61-A1)とその施行区域を流域に含む普通河川の整備を一体的に実施し、開発が進む新富士駅南地区の治水安全度を高め、安心で安全な中心市街地を形成する。															
61-C3	土地区画整理事業(61-A2)の施行区域内の公園の樹木やベンチ等の環境整備を行い、良好な住環境の創出し、定住人口増加を促進する。															
61-C4	土地区画整理事業(61-A1)とあわせて、計画期間中のふじさんめっせ活用イベントの実施支援を行い、新富士駅周辺における賑わいの創出及び交流の拡大を促進し、魅力ある住環境の創出を図る。															

(参考様式3) 市街地整備・道路



社会資本整備総合交付金チェックシート(市街地)

計画の名称: 快適で安全な魅力ある住環境の創出 事業主体名: 富士市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1) まちづくりの目標が上位計画と適合している。	○
②地域の課題への対応	
1) 課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について公表することとしている	○